

1. タイトル：著者名、所属および論文タイトルは日本語と英文の両方を記す。
2. 長さ：200字詰原稿用紙に換算して100枚を目安とする。なお英文の場合は7000wordsを目安とする。
3. 言語：横書きで現代国語分（「・・・である」調）で書かれていることを原則とする。英文のネイティブチェックは投稿者の責任で行うものとする。

4. 表紙：投稿する論文には所定の表紙を付ける。

表紙には最上段に「証券経済学会ワーキング・ペーパー」と記載し、「発行番号」、「タイトル」、「掲載時期」、「著者名と所属機関」、「連絡先」のみを記す。ワーキング・ペーパーの発行番号は、例えば2020年の1番目の掲載の場合は「No.2020-01」とする。

なお、所属機関は次のように記す。

大学教員：学部にも所属の場合 → ○○大学○○学部

大学院にも所属の場合 → ○○大学大学院○○研究科

大学院生：○○大学大学院○○研究科博士（または後期）課程

その他：○○研究所等（企業・団体名）

5. 本文の形式

所定の表紙を用いて、本文は2枚目からとする。

要旨やキー・ワードの掲載は自由であるが、これらを掲載する場合、2枚目のはじめに「日本語要旨」(300字前後)、(英文要旨であれば150 Words 以内) および「キー・ワード（日本語、英語）」(5つ以内)を記載する。

分類方法：大項目〔1. 2. 3.・・・〕、中項目〔(1)(2)(3)・・・〕、小項目〔(a)(b)(c)・・・〕の順で用い、それぞれなるべく表題をつける。

図表：

タイトルは簡潔に図表の上に明記する。

番号は図1、図2、表1、表2、・・・とし、初出よりの通し番号とする。(項目ごとに番号を付さない)

出所は必ず付記し、資料提供者(会社名)が判明しているものはそれを記し、次の例に従い図表の下に明記する。(外国語の書名はイタリック指定)

<例>

—単行本の場合—

(出所) 相沢幸悦『現代ドイツの金融システム』, 東洋経済, 1993年6月10日。

(出所) Goff,T.G., Theory and Practice of Investment, Heinemann, 1997, p.50.

—雑誌あるいは単行本中の一論文を示す場合—

(出所) 佐賀卓雄「アメリカの証券会社」『証券経済研究』第2号, 1996年7月, 44頁。

(出所) Galai,D.,“Tests of Market Efficiency of the Chicago Board Options Exchange, ”

The Journal of Business, 1997, Apr, pp.90-92.

—参考文献を記載している場合—

(出所) 佐賀〔1996〕, 44頁。

数式の番号： 数式の番号は通しでつける。

注：

本文中に肩つきに 1)、2)、3)、の形で示し、大項目末尾にまとめる。

<例>.....発行額面は 1,000 ドルである 1)。

書籍雑誌名の記載方法は、図表の出所例に準ずる。

参考文献： 参考文献は、末尾に一括して記載する。順序は、日本語、外国語の順とし、著者名で、日本語のものは「アイウエオ」順、外国語のものは「ABC」順に並べる。

なお、同じ著者で、同じ発行年の参考文献がある場合は、発行年に、a, b, ... を付けて区別すること。

記載方法は、単行本の場合：著者、[発行年]、題名、出版社名の順とし、題名には日本語の場合は『』を付け、外国語の場合はイタリックにする。

<例>

相沢幸悦 [1993] , 『現代ドイツの金融システム』, 東洋経済。

Goff,T.G. [1997] , Theory and Practice of Investment, Heinemann.

雑誌の場合：著者、[発行年]、論文題名、巻、号、頁の順にし、日本語の場合、論文題名に「」、雑誌名に『』を付ける。また、外国語の場合、論文題名に“”を付け、雑誌名は、イタリックにする。

<例>

佐賀卓雄 [1996], 「アメリカの証券会社」『証券経済研究』第2号, 7月, 44頁。

Galai,D. [1977], “Tests of Market Efficiency of the Chicago Board Options Exchange,” The Journal of Business, pp.90-92.

インターネットからダウンロードした場合：

・論文の場合：著者、[発行年]、「タイトル」、論文のシリーズ名および号数(例えばディスカッション・ペーパー・シリーズ、No.1)、論文を掲載している組織(例えばXX大学)。

(URL)の順にする。

<例>

Healy,P.M. and K.Palepu [2002] ,”Governance and Intermediation Problems in Capital Markets: Evidence from the Fall of Enron,” Harvard NOM Working Paper No.02-27,

Harvard Business School. (http://papers.ssrn.com/sol3/delivery.cfm/SSRN_ID325440_code020903590.pdf?abstractid=325440)

・ホームページの場合：組織名、「タイトル」(URL)。

<例>

東京証券取引所, 「決済制度」(<http://www.tse.or.jp/cash/clearing/index.html>)。

6. 掲載の形式：PDF をフォーマットとする

7. 原稿料： 原稿料は支払われない。